

令和元年度実施結果報告書

本評価結果は令和2年2月20日から21日に実施した「ニチイキッズ仙台くろまつ保育園」の評価報告書です。

ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園



(様式1 - 第三者評価機関公表用)

宮城県福祉サービス第三評価結果

1 第三者評価機関名

NPO 法人 介護の社会化を進める 一万人市民委員会宮城県民の会

2 施設・事業所情報

名称：ニチイキッズ仙台くろまつ保育園	種別：小規模保育園
代表者氏名：千田公美子	定員（利用人数）： 19名
所在地：仙台市青葉区北根3丁目21番24号サンハイツVII 103号	
TEL: 022-728-7551	ホームページ： http://www.nichiikids.net/nursery/other/sendaikuromatsu2/index.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成27年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 ニチイ学館	
職員数	常勤職員： 7名 非常勤職員 1名
専門職員	(保育士) 6名
	(栄養士) 1名
施設・設備 の概要	(居室数) 7
	(設備等) 冷暖房・床暖房・空気清浄機

3 理念・基本方針

保育理念	おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ 私たちは、「やさしく・つよく生き抜く力」を育みます。
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・すくすく育つ/健全な心と健全な身体 ・わくわく遊ぶ/積極的に学ぶ好奇心 豊かな創作力と自己表現 ・いきいき過ごす/自ら考え行動する自発力 地域で育む思いやりと広い視野

4 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・情操教育として毎週、リトミックを取り入れた活動を実施している。 ・外部講師による、英語レッスンを毎月行うことで、日常の生活を通じて、楽しみながら英語力を身につけている。 ・昼食において、三大アレルギー原因の食材をつかわない献立を導入し友達と同じものを食べる楽しい給食を行っている。 ・毎月子育て支援として、様々な内容の行事を立案したり、栄養士による食育相談や園長による保育相談の実施を計画したり地域にホームページ等で発信した。

5 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和1年10月1日（契約日）～ 令和2年4月7日（評価結果確定日）
受審回数	初回（令和1年度）

6 総評

◇特に評価の高い点

1. 保育所運営の基本が確立し運営に活かされています。

法人として、保育事業に関わる理念や基本方針、業務全般に亘る各種マニュアルや保育帳票が整備され運営に活かされています。

2. 働きやすい環境づくりに努めています。

法人の各種福利厚生制度が確立しており、育児や介護の休業制度をはじめ各種の休暇制度が整っています。職員は有給休暇の取得が義務付けられており、未消化分を翌年度に繰り越す、家族愛休暇なども取り入れています。仕事と子育ての両立支援を積極的に進めている企業として、厚生労働省のシンボルマーク「くるみんマーク」と「トモニマーク」を取得して推進しています。

3. 保育の質の向上に向けた職員の育成が行われています。

職員の階層別研修や外部研修、OJT研修、園内研修など研修の体系が確立しています。外部研修にも職員が積極的に参加し、内部研修にも活かされています。目標管理シートによる自己目標の設定と年2回の個別面談で達成度が確認され評価や指導が行われ職員の育成が図られています。

4. 安全な食事への取組が図られています。

「おもいっきりみんなで食べられる給食」を保育園の給食方針として掲げて、三大アレルギー食材である「卵・乳・小麦」を使わない献立を導入し、アレルギーのある子どもみんな一緒に食べられる給食を提供しています。季節感のあるもの、郷土料理などを取り入れた献立を作成し、子どもの食に関する経験を広げています。有害な食品添加物や遺伝子組み替え食品、加工品は極力使用せず、安全な食材を使用し、料理は薄味で、子どもの味覚の発達を大切に育てています。

◇改善を求められる点

1. 中・長期ビジョンの明確化

中・長期の事業計画は法人本部で作成しており、保育園としての独自の中・長期計画が作成されていません。保育園独自の取組と作成が望まれます。

2. 保育園独自の実施計画の策定及び見直しの取組

全国展開している法人の保育園であり、規程やマニュアル等は整備され、それに基づいた取組が行われていますが、地域性や環境に応じた取組が不足しています。保育園の実施計画の策定や計画の見直し、保護者との連携等、保育園としての地域の実状に即した、独自の取組が望まれます。

7 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、初めての第三者評価において、組織運営や自園の保育サービスを客観的、専門的に受審して頂くことで、現状把握ができ、職員自らも保育の水準を知り具体的な課題を明確にする機会になりました。
今後は、評価結果を踏まえ、職員が一丸となり、地域に開かれ、望まれるより良い保育を提供していきたいと思えます。
今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

8 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり（施設の区分に応じ福祉サービス第三者評価結果票を添付する。）

**令和元年度 宮城県福祉サービス第三者評価結果票
保育所(園)**

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念・基本方針が確立・周知されている。			
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	<p>保育園ではニチイキッズ保育園共通の理念「思いっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」や保育目標「すくすく育つ・わくわく遊ぶ・いきいき過ごす」等を定めており、パンフレットやホームページに掲載されている。保育目標は職員の行動規範となっており、入社時研修を始め職員会議などで周知されている。保護者には入園時に「入園案内兼重要事項説明書」を配布し説明している。</p>	a	1
2 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
① 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<p>法人本社では、福祉全般の動向を把握している。支店では市の福祉計画や待機児童の状況を把握し保育園と共有している。保育園では毎月、仙台市のホームページを閲覧してエリア内保育所の入所者数や待機児童数等を把握している。また、保育園の収支を毎月分析し経営状況を把握している。</p>	a	2
② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	<p>施設長は、毎月保育園の運営状況や収支内容を法人支店へ報告している。保育園では職員会議などで経営状況を話し合い、課題などは主任を中心に取り組む態勢があり、経費の節減など職員全員で取り組んでいる。</p>	a	3

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
3 事業計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	法人の中・長期計画(VISION25、2019~2025)が策定されている。しかし保育園独自の中・長期計画の作成には至っていない。今後、保育園独自の特性を踏まえた中・長期計画の作成が望まれる。	b	4
② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	単年度の事業計画は策定されているが中・長期計画を反映したものではない。今後、中・長期計画を反映した単年度の計画が望まれる。	b	5

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 事業計画が適切に策定されている。			
① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	年度末の職員会議で振り返りや新年度の計画について意見を聞き事業計画を策定している。事業計画書は職員に配布し、職員会議等で周知が図られている。月末に全職員で月ごとの保育の評価・見直しが行われている。しかし、保育園事業全般の評価には至っていない。評価の方法や時期、職員・保護者の意見を取り込めるような手順等検討が望まれる。	b	6
② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	入園時に「入園兼重要事項説明書」等をもとに保護者に説明が行われている。また、保護者懇談会の折に事業の主な内容を説明している。事業計画の主な内容はホームページに掲載されている。行事等は毎月の「園便り」や「クラス便り」で知らせる他、送迎時にも保護者に伝えている。行事の後に写真や内容を玄関に掲示し、様子が分かるようにしている。	a	7
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	施設長は法人の定めている、保育事業の細部に関わる「拠点事業報告書」を作成し、支店に毎月報告している。保育園では毎月の職員会議で、保育事業の進捗状況や内容が話し合われ、事業に反映されている。しかし、保育事業全般の自己評価には至っていない。今回初めて、第三者評価を受審しており、保育の質の向上に向けた姿勢が伺える。保育事業全般に亘る自己評価を取り入れることを検討して、職員全体による、保育の質の向上に向けた取組が期待される。	b	8
② 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	職員は「目標管理シート」により、保育目標を設定し、上期と下期の年2回、施設長が評価・面談してアドバイスしている。評価内容は職員個人の目標である。しかし、保育事業全般の課題の抽出・分析、解決・改善の取組には至っていない。第三者評価の結果等を参考にした職員全体での取組、新たな自己評価の導入などによる取組が期待される。	b	9

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
Ⅱ 組織の運営管理			
1 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	<p>保育園業務分掌規程や施設長業務マニュアルに施設長の役割と責任が規定されている。施設長は令和元年5月1日に就任しており、就任時に職員や保護者に施設長の役割と責任等について挨拶の中で意思表示をし、更に、職員には会議の折にも伝えている。しかし、周知は口頭にとどまっている。今後、職員や保護者などに文書化して伝える等周知の仕方についての工夫が望まれる。</p>	b	10
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<p>施設長は法人のコンプライアンスに関する研修を受けており、また、職員には保育業務マニュアル等でコンプライアンスについて指示し、更に、自己点検シートにより確認している。必要とする法令等の把握や一覧表は作成されている。関係法規などの職員への周知の取り組みが期待される。</p>	b	11

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 保育の質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している。	施設長は目標項目や達成レベル、方法等の「目標管理シート」を用いて、人事考課に基づいた職員の個人面談を行っている。また、毎月の職員会議で自由に意見を出し合うことや毎月、園内研修を行うなど保育の質の向上に向けて取り組んでいる。しかし、保育園全般の自己評価や課題の分析には至っていない。保育の質の向上に向けた今後の取組が期待される。	b	12
② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	施設長は法人支店と連携して人事・労務の適正な運用を図っている。毎月の収支分析や「拠点事業報告書」で事業の点検を行い運営に努めている。職員会議や職員研修で共通理解を図り、常日頃何でも言い合える明るい環境作りに努め、職員全体で取り組んでいる。	a	13
2 福祉人材の確保・育成			
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	法人は、保育園の運営に必要な福祉人材の確保や育成の方針を定めている。保育園に必要な職員の採用は法人支店が行い、配置は保育園と調整して行っている。現在、保育園の運営に必要な職員は確保されている。	a	14
② 総合的な人事管理が行われている。	人事管理は法人の人事理念や処遇基準などにより、法人支店が行なっている。処遇基準やキャリアパスなどは職員採用時に説明している。更に、「期待される職員像」を明確にした取組を期待したい。	b	15

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	法人の福利厚生制度が確立しており、休日休暇・休業制度や両立支援制度が充実している。年次有給休暇の取得が義務化され100%取得している。また、健康診断やインフルエンザ等の予防接種は就業時間内に保育園の負担で行われている。施設長は職員との年2回の個人面談をはじめ職員会議や日頃のコミュニケーションを通して、何でも話やすく、働きやすい職場づくりに努めている。	a	16

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	年度当初に、職員は法人の人事考課に基づく「目標管理シート」を用いて、目標を設定して施設長へ提出している。上期と下期の2回、施設長の個別面談があり一人ひとり達成度の確認や評価により、個別の指導と育成が行われている。	a	17
② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	法人において、職員研修の基本方針が定められている。入社時研修をはじめ3カ月間のOJT研修、フォローアップ・コーチング研修、ミドルマネジメント研修など体系的に研修が行われている。保育園でのOJT研修には施設長、先輩保育士が関わり段階的カリキュラムに沿い、期間中きめ細かに指導が行われている。また、園内研修が毎月行われている。	a	18
③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	法人が行う階層別研修や職種別研修には全職員が受講している。全職員の意見を基に年間園内研修計画が策定され実施されている。仙台市保育士連合会など主催の外部研修には、年度初めに職員の希望した研修に参加できるよう取り組んでいる。	a	19
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	実習生受け入れマニュアルやプログラムが整備されており、子育て支援の研修生を受け入れている。実習生についても受け入れる体制は整っているが受け入れの実績はない。実習生を受け入れる取り組みが望まれる。	b	20

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
3 運営の透明性の確保			
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	<p>法人の事業報告、決算状況がホームページに公表されている。保育園の運営や子育て支援の内容などもホームページに公表されている。保育園の予算や決算状況は保育園で閲覧できるようにしている。苦情相談や体制については保育園の玄関に掲示し、「入園兼重要事項説明書」に記載しており、苦情解決の結果は保護者の同意を得て公表する仕組みになっている。町内会に加入しており、町内会長に保育園の情報を提供するなどし、保育園行事のポスター掲示を依頼している。</p>	a	21

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保育園の運営は法人の事務分掌、経理規程、マニュアル等に基づき、施設長の責任の下、職員に周知され行われている。法人支店の内部監査を毎年受けており、本社において決算監査や外部監査が行われホームページ上に公表されている。	a	22
4 地域との交流、地域貢献			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保育園のホームページやパンフレット等に地域との交流について文書化している。保育園が行っている子育て支援事業は「子育て広場」として毎月開催している。地域の未就園児は、保育園の子どもたちと一緒に活動し楽しんでいる。ホームページや玄関の扉に「子育て広場」を掲示し、地域の方に知らせている。また、子育ての悩み等の育児相談にも取り組んでいる。	a	23
② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	該当なし		24
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保育園に必要な社会資源をリスト化して事務所に掲示し、職員が活用しやすいようにしている。「オレンジリボン憲章」を玄関正面に掲げて、虐待防止運動に努めている。特に気になる子どもに対しては、区の家庭健康課や子ども未来局運営支援課等と情報交換を行っている。また、児童相談所、保健所、嘱託医、消防署、警察署、警備会社等と連携している。必要に応じて保護者へ情報提供を行っている。	a	25

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	<p>保育園は子育て支援事業を行っている。区の家庭健康課へ定期的に連絡し、待機児童等の把握に努めている。気になる親子については、関係機関と連携して取り組んでいる。施設長は地区の町内会に加入し、町内会長へ「子育て広場」の声掛けを行っている。今後は町内会の各種会合への参加や地域住民との交流活動を通して、地域の福祉ニーズや生活課題の把握に努めることが望まれる。</p>	b	26
② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	<p>地域に関わる事業として子育て支援を行っている。月1回未就園児を対象にした「子育て広場」を開催し、園児と一緒に活動するなどの取組を行っている。また、地域の未就園児を対象にした「一時預かり保育」を実施している。</p>	a	27

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
① 子どもを尊重した保育について共通の理解を持つための取組を行っている。	<p>保育園のパンフレットや「入園案内兼重要事項説明書」に、保育理念や基本方針が記載され、入園説明会で、理念や方針など説明している。職員会議や朝礼・昼礼時に子どもを尊重した保育について話し合いをし、振り返りも行っている。職員休憩室には、子どもの権利擁護「生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利」を掲げ、全職員に周知を図っている。</p>	a	28
② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	<p>人権擁護に関わるマニュアルが整備され、職員への研修により理解されている。虐待チェックシートを活用し、保育の振り返りを行い、子どものプライバシー保護に努めている。園児の生活の様子等、ホームページや写真に掲載する場合は、保護者からの同意を得ている。</p>	a	29
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	<p>ホームページに保育園の概要等が掲載され、保育内容や特徴的な取組み等、利用希望者へ情報を伝えている。見学者には口頭で事業内容を説明し、必要な書類など提供している。また、園独自の施設利用希望者見学リストを作成し、電話の対応等に活用し入園に繋げている。今後は、保育園を紹介した資料を、多くの人が入手できる場所に置く等、利用希望者に情報が伝わるような工夫が望まれる。</p>	b	30

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保育の開始にあたり、入園説明会で「入園案内兼重要事項説明書」等で保育園での生活の様子をわかりやすく説明し、保護者から同意を得ている。また、保育内容や行事等の変更がある場合は、内容を記載したお知らせを、書面で保護者に渡している。	a	31
③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保育園の変更にあたり、その後の対応について、保護者が相談できる担当窓口として、施設長を配置している。保育園の変更の際は、保護者が家庭状況報告書を市に提出している。子どもへの保育の継続性に配慮した保育経過記録が作成され、必要に応じて自治体に相談して対応している。	a	32
(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	利用者満足に関する調査の担当者として、施設長を配置している。行事に対してはアンケートを実施し、次回の行事に活かすようにしている。更に、保護者に対する利用者満足に関する調査や保護者懇談会における聴取等を定期的に行い課題の発見や対応策の検討など、利用者満足の上昇に向けた取組が望まれる。	b	33
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	相談・苦情受付担当者及び苦情解決責任者に施設長を配置している。また、事業所外の相談・苦情窓口として「福祉サービス利用に関する運営適正化委員会」を掲示している。しかし、掲示物の文字が小さくてわかりにくい。保護者にわかりやすいフローチャートを整備し、掲示板に掲示するとともに、更に保護者に配布し説明することが望まれる。苦情解決の結果は、保護者の同意を得て公表する仕組みになっている。	b	34

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	<p>保護者からの相談や意見等を受ける仕組みは、「入園案内兼重要事項説明書」に記載されている。また、相談室は事務所の中にあり、カーテンで仕切られるようになっている。保護者の相談は迎えの時間帯に受けている。意見箱は誰もが活用しやすい場所に設置されている。</p>	<p>a</p>	<p>35</p>

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	相談や意見に対しては、「事故トラブル苦情マニュアル」に沿って対応している。意見箱の設置やアンケート等で意見を把握する取組を行っている。職員は保護者とのコミュニケーションを大切にしており、送迎時に保護者との会話で、日常生活の様子を把握するなど迅速に対応している。検討に時間がかかる場合は、期間を決めて保護者に伝え対応している。	a	36
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	リスクマネジメント責任者に施設長を配置している。危機管理マニュアルや安全管理マニュアルが作成され、避難訓練(毎月)や防犯訓練(隔月)等が計画的に実施され反省等も行われている。ヒヤリハット報告は重要なことと捉え、園独自の「ヒヤリハットしたら! ヒヤリハット!」を作成し、ミーティングで発生要因を分析し、防止策など話し合っている。また、ヒヤリハット一覧(本社作成)に記録している。事故トラブル・苦情対応・ヒヤリハットの活用法など、内部研修で職員の周知を図っている。	a	37
② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	感染症対策は施設長を責任者として配置している。衛生管理マニュアルを作成し、見直しはその都度行っている。感染症の予防や安全確保のための外部研修を受けて、職員に周知を図っている。「入園案内兼重要事項説明書」や年間保健計画、園だより等で感染予防策を保護者に伝えている。また、感染症が発症した場合は即座に掲示し、保護者に配布し注意を促している。しかし、感染症予防に対する園児の登園の際の保護者の捉え方に差異があり、安全確保の取組が課題になっている。今後は嘱託医との連携や健康管理の見直しなど、検討が望まれる。	b	38

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	子どもの生命を守るために、危機管理マニュアルや非常災害対策計画を基に、定期的に研修を行っている。毎月の避難訓練では様々な災害を想定して実施している。災害時の連絡体制、緊急時のフローチャート等を整備し、入園時に保護者に配布し説明している。備蓄一覧により、防災点検や備蓄の確認等を行っている。今後は保護者への引き渡し訓練の方法について、来年度早々に保護者に伝え、周知して行くとしており、期待したい。	b	39
2 福祉サービスの質の確保			
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	標準的な実施方法は保育業務マニュアル、入園案内兼重要事項説明書、全体的な計画、年齢に応じたプログラム等に文書化されている。入社時に研修やOJTで個別指導を受けて、職員に周知している。今後は、標準的な実施方法に基づいて、各職員が日々の保育業務において、標準的な保育が実施されているかを確認する仕組みが望まれる。	b	40

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	標準的な実施方法(文書)の見直しは本社で定期的実施し、改訂履歴が記載されている。保育園では、必要に応じて変更届を本社へ提出し、各種マニュアルや帳票等の見直しが行われている。今後は保護者からの意見や提案等が反映される取組が望まれる。	b	41
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	入園面接記録や児童票等によって身体状況や生活状況を把握し、全体的な計画に基づいた指導計画書を策定している。また、実施のプロセスや責任及び役割分担体制が作られている。各クラス担任は保育日誌や保護者との話し合いをもとにアセスメントし、計画を策定している。全体的な計画や月間指導計画は本社で策定されているが、保育園としての地域の実状に即した計画の策定が望まれる。	b	42

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	指導計画の目標やねらい・具体的な保育支援や解決方法の検証等、定期的に見直ししている。各指導計画は決められた期間に評価・見直しをし、次の計画に繋げている。月間指導計画は本社で評価・見直しを行っているが、保育園の実状に応じた計画の見直しが望まれる。	b	43
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保育の実施状況の記録は、法人で定めた様式に記録されている。月間指導計画、個別月間指導計画、週日案、児童票、保育日誌、給食日誌、施設日誌等に適切に記録され、職員間で共有している。書き方については施設長がチェックをして統一を図っている。	a	44
② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	法人の文書管理規程を基に保管、保存、廃棄等が明記され、管理している。個人情報の書類等は、鍵のかかる場所で保管されている。職員は研修で個人情報保護規程を理解し遵守している。また、コンプライアンス個人情報トレーニングや自己振り返りチェックシートを活用し、「理解度チェック解答」で確認している。保護者には「個人情報の取り扱いについて」を配布し説明している。	a	45
A 福祉サービスの内容			
A-1 保育内容			
A-1-(1) 保育課程の編成			
① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	保育理念、保育の方針や目標に基づいた全体的な計画が、法人本部で作成されている。職員参画による全体的な計画の見直しはされているが、十分ではない。今後は、地域の実態に対応した当園独自の保育課程の編成に向け、全職員で取り組むことを期待したい。	b	46

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	冷暖房・床暖房・空気清浄器が設置され、クッション性のある床材を使用している。専門業者による設備の安全点検(1回/年)も行われ、安全な環境維持に努めている。遊具・用具・諸設備等も、仙台市の衛生マニュアルに従い、日々常に清潔な状態が保たれている。	a	47
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	入園時の聞き取りや連絡帳等を通して、家庭環境や発達の個人差を把握している。それらの実態把握を基に、個別指導計画を作成し、一人ひとりに合わせた関わりを行っている。	a	48
③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	個別指導計画を作成して、子ども一人ひとりを大切にした保育を行っている。また、子どもの意欲を育てるような声掛けや働きかけも適切に行われている。今後は、生活習慣の習得状況の把握や次のステップへの確認等を保育に反映させ、保育の質の標準化に向けた取組の構築が望まれる。	b	49
④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	天候や子どもの状態に合わせて、週数回程度の散歩や外気浴を行っている。室内では、リトミック等の運動遊びも取り入れている。今後は、散歩以外で、身近な自然に触れたり、安全に伸び伸びと探索活動を楽しんだりする環境づくりの工夫に期待したい。	b	50

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>送迎時の保護者への声掛けや連絡帳を通して、子どもの状況を伝え合い、生活の連続性に配慮している。0歳児6名に、保育士2名の配置で、保育士との愛着関係が保たれている。保育室には、ベビーベッドを設置し、月齢差に合わせ、安定して過ごせる環境が整備されている。また、発達に即した手作り玩具を用意して、様々な感覚刺激遊びを取り入れる等の工夫が見られる。</p>	a	51
<p>⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>1歳児10名、2歳児2名を保育士2名で合同保育をしている。個別指導計画を作成しており、子どもの発達に合わせた、適切な声掛けや働きかけも確認できた。連絡帳や送迎時の保護者への声掛けを通して、家庭との連携も取られている。しかし、生活習慣の自立に向けては、より積極的な保護者への働きかけを期待したい。</p>	b	52

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	入所対象が0歳～2歳児の為、該当しない。		53
⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保護者には、日々の子どもの姿を連絡帳や行事・個別面談等を通して伝えている。また、定期的に仙台市の保健師の巡回相談を受けており、個別の発達経過記録も残している。	a	54
⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	18時～19時の延長保育利用は、現在2名おり、18時過ぎに補食を提供している。また、施設日誌・職員用連絡ノート・延長保育日誌で、職員間の引継ぎを行っている。	a	55
⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	入所対象が0歳～2歳児の為、該当しない。		56

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-1-(3) 健康管理			
① 子どもの健康管理を適切に行っている。	「年間保健計画」が、法人本部で、作成されている。入園案内に、健康管理について記載し、保育士への周知も図られている。既往症・予防接種の状況等も、保護者から随時、情報を得て、児童票に記載している。SIDS対策については、0歳児5分毎、1歳児10分毎、2歳児15分毎、午睡時の観察と睡眠状態の確認を行い、チェック表に記録している。また、園内研修で職員への周知、園内掲示で保護者への周知を図っている。登園時と午睡時(2回/日)、検温し、体調不良の早期発見に努めている。	a	57
② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	健康診断(2回/年)、歯科検診(1回/年)を実施している。結果は、記録・保管し、保護者にも連絡している。今後は、食後のうがい、発達に応じた絵本の読み聞かせ等の健康啓発の取り組みに期待する。	b	58
③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	離乳後期にアレルギー疾患を発症し、卵・牛乳の完全除去を行ったケースがあった。その内容を職員会議で伝達し、全職員への周知徹底を図った。また、食食用トレーに目印のシールを添付する等の対応をした。家庭で安全確認をした後で、生活指導票と医師の診断書を提出してもらい、現在は除去が解除になっている。	a	59

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-1-(4) 食事			
① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	年間食育計画(法人本部作成)により、「おもいきりみんなで食べられる給食」を実施している。3大アレルギー原因食材除去の献立の導入により、全園児が同じ給食を一緒に楽しめるよう、配慮している。栄養士手作りの「紙芝居」「絵話」等を使って、活動への導入をしたり、食材に触れる機会を作ったりして、子どもの興味関心を高め、食への関心を深める食育活動(1回/月)を積極的に行っている。保護者には、献立表配布、給食サンプル展示、給食試食会等を通して、園の取り組みを伝えている。	a	60
② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	各種マニュアル(給食衛生・食中毒・食物アレルギー・調乳・離乳食の作り方や進め方等)が整備され、安心・安全な給食が提供されている。栄養士は、毎日クラス巡回を行って、子どもの様子や食貝具合を確認し、日々の給食提供に役立っている。	a	61
A-2 子育て支援			
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	入園時、入園案内を保護者に配布し、保育理念や保育目標、保育内容、保育時間、年間行事、持ち物等について説明している。また、園だより、クラスだよりの配布、行事への参加等を通して、保育内容を伝え、理解を得る機会を設けている。毎日の連絡帳や送迎時の保護者とのやり取り、個別面談等で、子どもの成長を情報共有するとともに育児支援にも努めている。	a	62

事業所名(ニチイキッズ 仙台くろまつ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-2-(2) 保護者等の支援			
① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	送迎時の保護者との関わりや連絡帳の活用により、コミュニケーションを図り、信頼関係を築くように努めている。クラス担任の保育士が相談を受けた場合、園長に判断を仰いだり、支店の助言を受けたりする等、相談・対応や保護者支援の体制が整備されている。園内で情報共有する際は、対象となる保護者との信頼関係が崩れないように、十分配慮している。	a	63
② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	登園時の視診やオムツ交換の際に観察を行っている。法人本部の強化月間には「虐待防止マニュアル」に基づいた職員研修を行っている。保護者へは、パンフレットの配布やポスターの掲示を行っている。今後は、保護者への啓蒙活動や、職員の外部研修参加等、更なる理解を深めるための取組が望まれる。	b	64
A-3 保育の質の向上			
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
① 保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	自己評価(2回/年)で、日常保育業務の振り返りを行っているが、現状の自己評価は人事考課となっている。今後は全国保育協議会の保育士自己評価チェック表を活用し、自己の目標と共に保育過程全体を振り返り、専門性の向上につながる組織的な取組に期待したい。	b	65